

Marking notes

Remarques pour la notation

Notas para la corrección

May / Mai / Mayo de 2019

Japanese / Japonaise / Japonés
A: literature / littérature / literatura

Higher level
Niveau supérieur
Nivel superior

Paper / Épreuve / Prueba 1

No part of this product may be reproduced in any form or by any electronic or mechanical means, including information storage and retrieval systems, without written permission from the IB.

Additionally, the license tied with this product prohibits commercial use of any selected files or extracts from this product. Use by third parties, including but not limited to publishers, private teachers, tutoring or study services, preparatory schools, vendors operating curriculum mapping services or teacher resource digital platforms and app developers, is not permitted and is subject to the IB's prior written consent via a license. More information on how to request a license can be obtained from <http://www.ibo.org/contact-the-ib/media-inquiries/for-publishers/guidance-for-third-party-publishers-and-providers/how-to-apply-for-a-license>.

Aucune partie de ce produit ne peut être reproduite sous quelque forme ni par quelque moyen que ce soit, électronique ou mécanique, y compris des systèmes de stockage et de récupération d'informations, sans l'autorisation écrite de l'IB.

De plus, la licence associée à ce produit interdit toute utilisation commerciale de tout fichier ou extrait sélectionné dans ce produit. L'utilisation par des tiers, y compris, sans toutefois s'y limiter, des éditeurs, des professeurs particuliers, des services de tutorat ou d'aide aux études, des établissements de préparation à l'enseignement supérieur, des fournisseurs de services de planification des programmes d'études, des gestionnaires de plateformes pédagogiques en ligne, et des développeurs d'applications, n'est pas autorisée et est soumise au consentement écrit préalable de l'IB par l'intermédiaire d'une licence. Pour plus d'informations sur la procédure à suivre pour demander une licence, rendez-vous à l'adresse <http://www.ibo.org/fr/contact-the-ib/media-inquiries/for-publishers/guidance-for-third-party-publishers-and-providers/how-to-apply-for-a-license>.

No se podrá reproducir ninguna parte de este producto de ninguna forma ni por ningún medio electrónico o mecánico, incluidos los sistemas de almacenamiento y recuperación de información, sin que medie la autorización escrita del IB.

Además, la licencia vinculada a este producto prohíbe el uso con fines comerciales de todo archivo o fragmento seleccionado de este producto. El uso por parte de terceros —lo que incluye, a título enunciativo, editoriales, profesores particulares, servicios de apoyo académico o ayuda para el estudio, colegios preparatorios, desarrolladores de aplicaciones y entidades que presten servicios de planificación curricular u ofrezcan recursos para docentes mediante plataformas digitales— no está permitido y estará sujeto al otorgamiento previo de una licencia escrita por parte del IB. En este enlace encontrará más información sobre cómo solicitar una licencia: <http://www.ibo.org/es/contact-the-ib/media-inquiries/for-publishers/guidance-for-third-party-publishers-and-providers/how-to-apply-for-a-license>.

1. 適当～良い文学論評は以下を含む

- 「多田」と「彼」とのやりとりが、三人称視点で客観的に描かれていることを理解している。
- 擬態語、色彩、擬音語などの基本的な技法について指摘し、その効果を述べている。
- 「彼」の心情が、視覚や嗅覚、聴覚、触覚、などの五感を通して詳細に描写されていることに言及し、その効果について述べている。
- 「彼」「多田」それぞれの人物像が、根拠をもって述べられている。
- 「彼」が旧友である裕福な「多田」に、飼い犬を買い取って欲しいことを伝えるものの、その申し出に多田が冷酷な対応をする場面であることが理解できている。

優れた～非常に優れた文学論評は以下も含むと考えられる

- 使用されている技法やその効果について深いところまで分析できている。
- 三人称視点で語られてはいるが、「彼」の視点や心情、感覚がストーリーの中心になっている。一方、「多田」に関してはあくまで第三者から分かる心情、情報は限定されている。この語り手の視点の不均衡が、読者に「彼」の葛藤や気弱さ、「多田」の非情さを訴えかけ、物語に引き込む効果があることに言及している。
- 「尿意」の描写が、「彼」の心情を表すことに一役かっていることに気付いている。
- 作品のムードについて言及している。（例：短文で淡々とした語り口が、「彼」の焦りやもどかしさ、「多田」の冷淡さをさらに強調させていることに気付いている。）
- 「多田」と「彼」の関係について深い分析を試み、論理的な説明ができている。（例：多田の家は裕福であるが、「彼」は今すぐの空腹感ともたたかうほどである。「多田」は「老獺な微笑」や「おだやかな薄笑い」を浮かべることが多く、旧友でありながら、二人は視線を合わせる場面が少ない。「多田」は「彼」の犬を買い取って欲しいという望みの真意を知りながら、わざとその申し出をあしらっている。二人は真の友人関係とはいえない など）

2. 適当～良い文学論評は以下を含む

- 五連の口語自由詩であることを理解している。
- 擬人法（「糸くずも生真面目に整列する」）、色彩（「濃紺」「生白い」）、固有名詞、体言止め、などの基本的な技法について指摘し、その効果を述べている。
- 1～3連の描写から、女子学生たちの表情や様子を分析している。（例：元気のない、無機質なさま。感情が一切描かれていないが、学校生活で用いられるさまざまなアイテム、例えばジャンパースカート、校庭、ソックス、日誌などが彼女たちの生活を象徴している。）
- 女子学生達が「朝礼」のために校庭に整列し、体操をしている中、数人が遅刻してやってくるという日常的な場面が表現されていることに気付いている。
- 遅れてきた人たちを、「あの人たち」と表現する理由や、25～26行目「頬がざわめいて」「感情がささ波立つ」理由について自分なりに分析しようとしている。

優れた～非常に優れた文学論評は以下も含むと考えられる。

- 使用されている技法やその効果について深いところまで分析できている。
- 詩のムードについて述べている。
- 1～3連の描写から、女子学生たちの表情や様子を深く分析している。（例：「生殖器」が強調されている違和感。人間らしさに欠ける描写。）
- 各連のつながりを理解している（例：一連では、「制服の糸くずまでが整列する」緊張感のある朝礼の中、女子学生たちの列は「川」に例えられ「手足は生白く」「貧血」の生徒達に生氣はない。二連では、来ていない人たちを数ではなく、固有名詞でカウントすることから、「学校」が生徒達にとって閉鎖的な世界であることが読み取れる）。
- 1～3連までは、生氣のない女子学生たちのいる圧迫感のある空間が描かれるが、4連で「ゆっくり」遅刻してきた「あの人たち」によって、5連では女子学生の「川」が乱れ、「柔らかなもの」が出現する。その第5連で表現されていることに注目して、作者の意図について分析している。
- 最後の2行の意味について考え、説得力のある論を展開している。